

# 公開講演会

<講演会>

## 「世界遺産プレアビヒア寺院を語る」

—学生による写真展とともに—

講師：H.E. UK Someth (ウック・ソメット氏)

(カンボジア王国副首相特別補佐官、プレアビヒア地区開発統括責任者)

<パネル討論>

## 「カンボジアの経済発展には何が必要か？ 日本の役割を問う」

パネリスト

森田徳忠 氏 (カンボジア政府経済最高委員会顧問)

遠藤一弥 氏 (共同通信横浜支局長、元アジア総局長)

加藤節夫 氏 (プレアビヒアの会事務局長)

司会

阿部茂行 教授 (同志社大学政策学部教授・現代アジア研究センター長)

2008年7月に世界遺産に登録されたプレアビヒア寺院は、12世紀のアンコールワットより長い歴史を持つ。カンボジア北部の山岳地帯にヒンズー教寺院として、9世紀半ばに建立されたこの寺院は、その地形ゆえ、また、ポルポト軍の戦闘拠点であったこともあり、長期間放置され、随所で崩落の危機に瀕している。プレアビヒア地区開発統括責任者であるウック・ソメット氏に、プレアビヒア寺院の紹介とともに今後の展望についてまず基調講演をしていただく。次に、プレアビヒア寺院の保全と同じくらい大切な寺院周辺の森林・自然保護および地域の住民サポートという「環境ならびに農村支援」計画の準備に携わってきた方々に、パネル討論の形でカンボジア情勢一般、遺跡関連事業、NGOおよび日本の関わり方等、率直な意見を述べてもらう。

開催日：2009年3月9日(月)

開催時間：14:00～17:00

場所：同志社大学新町キャンパス  
臨光館 R208教室

入場無料・事前申込不要

<通訳あり>



同志社大学 現代アジア研究センター(CCAS)

お問い合わせ先(CCAS)

FAX 075-251-3036

e-mail rc-ccas@mail.doshisha.ac.jp

URL: http://ccas.doshisha.ac.jp